



そういえば…
いつも床を触っているんだよね。
パパもママもお掃除してくれるけど…



ひよっとして!?

まだ寒い日もあるし…
手足が冷たくなっちゃわないのかな?



なんだか心配になってきちゃった。
大丈夫かな?
教えてムース先生!

スウェディちゃんは、
スウェーデンハウスに暮らす女の子。
好奇心旺盛なスウェディちゃんの周りには
なぜ?なに?どうして?が、たくさん。
今日も不思議を見つけたようです。



スウェディちゃんの
なぜ?
なに?どうして?
教えて
ムース先生!

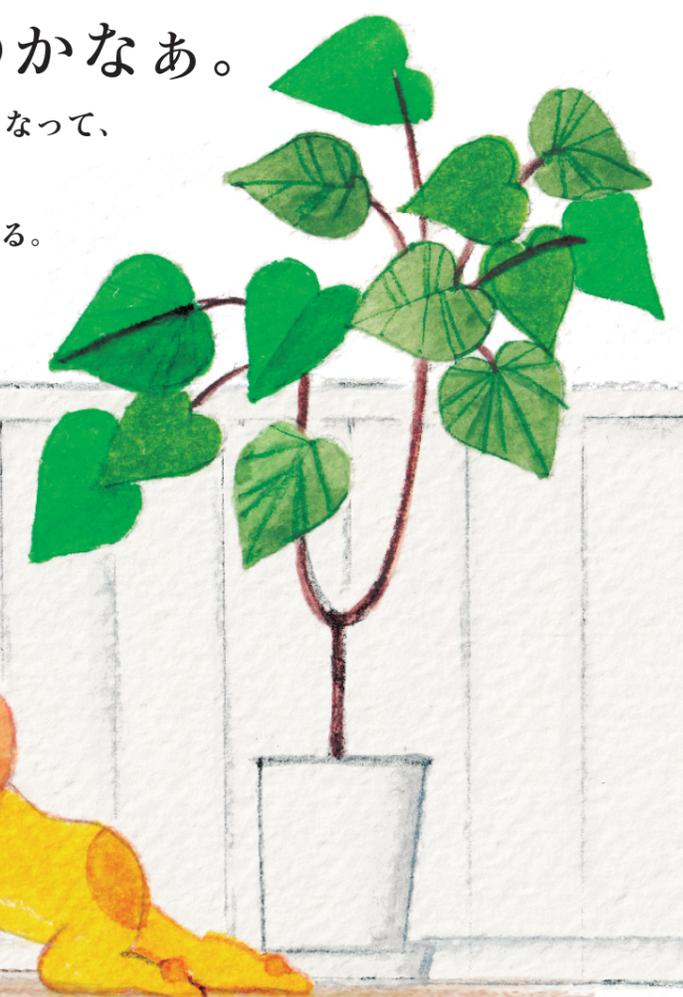
Vol.17
赤ちゃん目線の
快適編



今日も、弟くんはご機嫌!

お家が
好きなのかなあ。

ハイハイが上手になって、
一緒に遊ぶのが、
どんどん楽しくなる。



何して遊ぼうか。

床に、ゴロンとして

絵本を読んであげようかな。

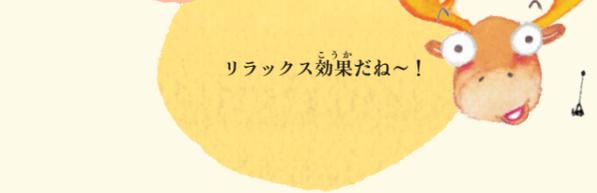


くに すいしん もくぞうこうしや
国が推進する木造校舎

2010年に「公共建築物等木材利用促進法」が施行され、木造校舎が増えました。木造建築がもたらす快適性とリラックス効果などが学習効果を向上させるというデータがあります。また木の調湿作用により、湿度が低く、乾燥した環境で長時間息するインフルエンザウイルスの生存率も抑えられて、感染が減ったという報告もあります。



お友達がお家に来ると、木のいい香りがするねって言うの。



けんこう たも かいてき しつおん
健康を保つ快適な室温

スウェーデンハウスは、床・壁・天井を分厚い断熱材で包み込み、隙間をできるだけなくした高気密・高断熱性能の家。だから、家中どこも快適な室温をキープできる。赤ちゃんや子どもの体温は、周りの温度の影響をとっても受けやすいんだ。特に直接触れる床には、20cmの断熱材をぎっしりと敷き詰めて、床下からの冷えを伝えず、床上30cmの赤ちゃんの生活環境を快適にするんだ。温度差があると、血流が悪くなったり、神経を刺激したりして、病気を引き起こす原因になることもあるよ。赤ちゃんはハイハイからよちよち歩きになり、やがて家中を走り回り始める。子どもにとって、家中が子ども部屋なんだ。家のどこにいても変わらない快適な室温が保たれていることは、健康にとっても重要なんだよ。

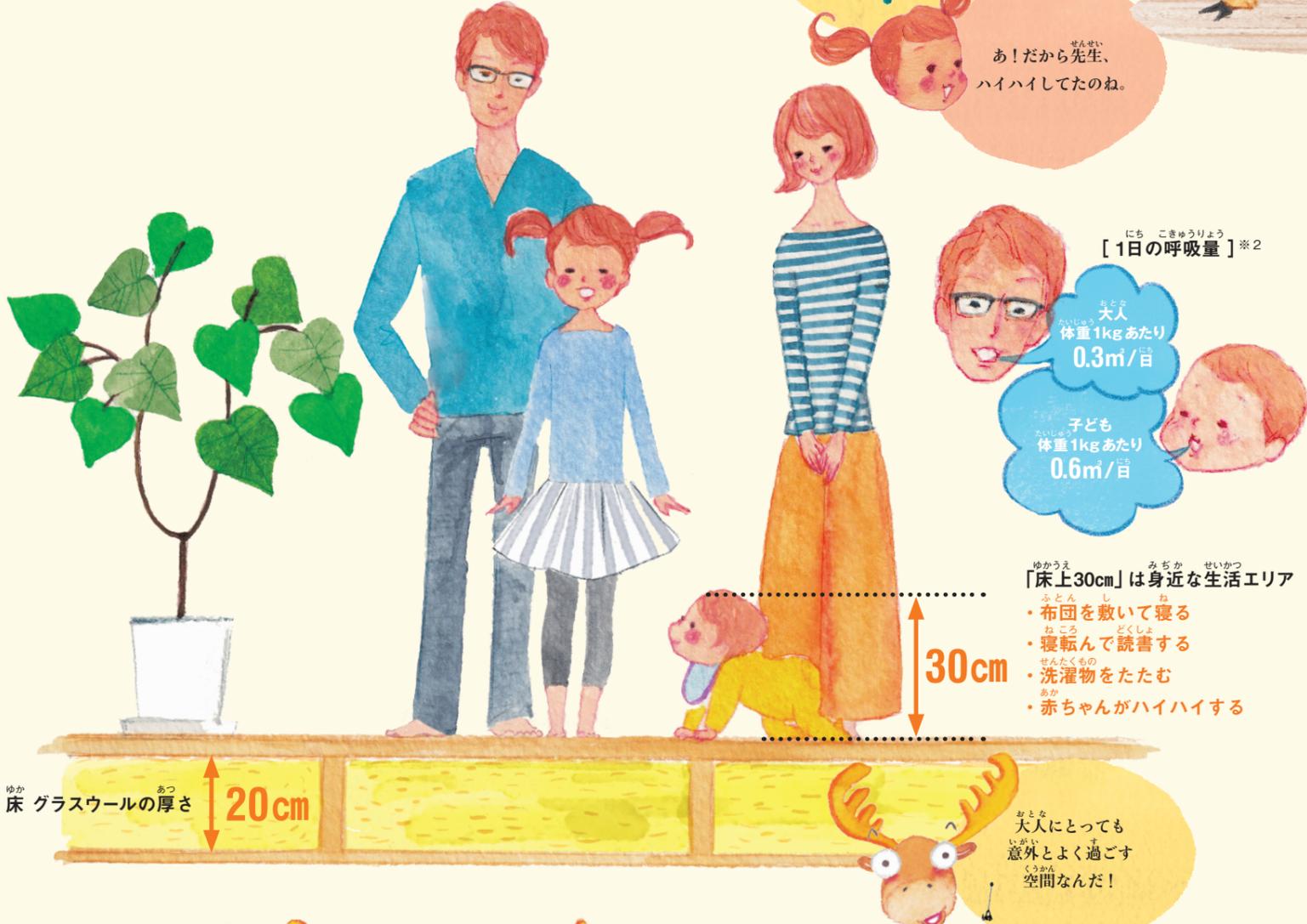
おとうさん、おかあさんへ

「赤ちゃん目線の快適編」に関する情報は、バックナンバー167号、175号、178号、183号のテクノロジー、171号、175号の特集でもご紹介しています。またスウェーデンハウスのテクノロジーカタログもご用意しています。



「木」から感じる心地よさ

スウェーデンハウスは、天然素材である木をたくさん使っているね。木に触れた時に感じる優しい温もりは、暮らしの心地よさにつながっている。スウェーディちゃんみたいに素足で歩いたり、赤ちゃんがハイハイすると、触れた手足の皮膚感覚が磨かれ、適度な弾力がある床からの反発力が、脳に刺激を伝えるといわれている。木の床は、乳幼児の成長に良い影響を与える環境をつくっているんだ。他にも、適度に水分を吸収、放出する調湿作用や、フィトンチッドという木の香り成分は、気持ちを落ち着かせたり、カビやダニを予防する働きもあるよ。



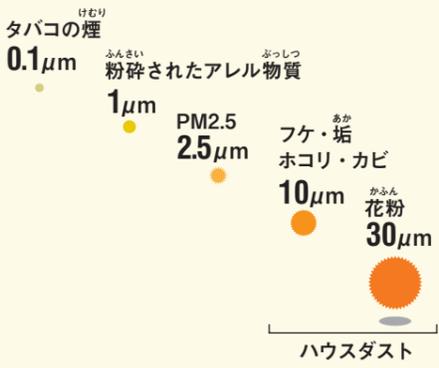
床 グラスウールの厚さ 20cm

「床上30cm」は身近な生活エリア

- ・布団を敷いて寝る
- ・寝転んで読書する
- ・洗濯物をたたむ
- ・赤ちゃんがハイハイする

おとなにとっても意外とよく過ごす空間なんだ!

「汚れの粒子の大きさと重さ」



軽い
汚れの重さ
重い

赤ちゃんの目線で快適な家考えた時、空気環境や温熱環境を備える住宅性能と、木の素材がいかに大切なことなのが見えてきます。豊かな生活を追求するスウェーデンの住思想が宿るスウェーデンハウスは、これからも赤ちゃんからお年寄りまで、だれもが安心して快適に暮らせる家づくりを進めていきます。

ムース先生のおはなし

お姉さんだから、いろいろ気になるんだね。
じゃあ、今回は赤ちゃんの目線になって、お家のことを見ていこうか。

あ!だから先生、ハイハイしてたのね。

【1日の呼吸量】※2

大人 体重1kgあたり 0.3m³/日

子ども 体重1kgあたり 0.6m³/日

スウェーディちゃん、毎日弟くんと遊ぶの、楽しそうだね。

家の中にも、大人と子どもとは生活空間の高さに違いがあるよね。これが、赤ちゃん目線のポイントだよ。

成長に影響する室内の空気環境

人が生きていくのに、最も多く摂取するものは空気なんだ。近年は室内で過ごす時間が多くなっていて、90%もの時間を過ごす※1ともいわれているよ。室内で吸っている空気には、花粉やPM2.5など外から入るものや、家庭製品の材料として化学物質も含まれている。子どもは大人よりも体が小さくて、呼吸する量は少ないけど、体重1kgあたりで比較すると、空気摂取量は大人の2倍になるというデータがある※2。乳児期から幼児期にかけては、内臓や神経が最も成長する時期なので、室内の空気が安全でなければ、体に悪い影響を与えてしまう恐れがあるんだ。

※1 厚生労働省HP (https://www.mhlw.go.jp/content/000511242.pdf)
※2 東京都福祉保健局健康安全部環境保健衛生課「化学物質の子供ガイドライン(室内空気編)」(平成23年3月31日発行)より

計画的換気システムで保つ快適さ

小さな子どもほど、床に近い所で過ごすことが多いね。その生活空間は赤ちゃんが床上30cm、3歳児(身長100cm)で60cmくらい。実は、粒子が大きくて重い花粉やハウスダストは、床上30cmくらいのところに溜まりやすいといわれているんだ。一日のほとんどの時間を室内で過ごす乳幼児は、自分では環境を選べないから、室内を快適に保ってあげることが大切なんだよ。スウェーデンハウスが標準装備している24時間熱交換型換気システムは、屋外のチリやホコリ、花粉やPM2.5の侵入を抑え、家全体の空気を2時間に1回以上入れ替えるよう計画している。だから、常にきれいな空気環境を保てるんだよ。